

核兵器廃絶・放射能被害根絶・原子力空母いらない！

神奈川県原水協通信

発行：原水爆禁止神奈川県協議会

横浜市中区野毛町 2-61 大沢ビル 4A

TEL 045 (231) 6284 Fax 045 (261) 6577

Mail- kana-gensuikyo@gol.com

発行日：2017.7.6 No. 1 3 4

7月6日、神奈川県

ヒバクシャ国際署名 11万1656筆 に到達！

署名がんばりベスト5

の団体・地域原水協を
紹介します。

【団体】

- ①新婦人 37,645筆
- ②建設労連 30,035筆
- ③日本共産 13,919筆
- ④県民医連 12,127筆
- ⑤消費者と生産者が手をつなぐ会 1,241筆

【地域原水協】

- ①鎌倉市 3,130筆
- ②藤沢市 1,874筆
- ③中原区 1,634筆
- ④西さがみ 1,462筆
- ⑤宮前区 1,259筆

※数字は7/6現在の報告

昨年の秋以来、県原水協加盟の団体や地域原水協が全力で取り組んできた「ヒバクシャ国際署名」ですが、7月6日、10万筆を突破し、11万1656筆に到達しました。「国連交渉会議第2会期が終了するまでに必ず10万筆を突破しよう」とがんばってきましたが達成させることができました。

7日は歴史的な禁止条約が採択される見通しです。条約採択とともに神奈川県原水協10万筆突破を喜びたいと思います。県民の皆さんの一筆一筆が力となり、新たな歴史を切り開きました。

次は、核保有国と日本などの核依存国を、日本と世界の世論と運動で包囲し禁止条約に参加させる運動です。とりわけ、秋の国連総会で日本政府が禁止条約に賛成し、調印することを求める運動が重要になってきます。圧倒的なヒバクシャ国際署名で安倍政権を変え、非核平和の政府を実現させましょう。

新婦人、建設労連、共産党、鎌倉市原水協、藤沢市原水協などの先進的な活動に学び、次の飛躍をつくりましょう。

ヒバクシャ署名も力になり 歴史的・画期的な内容で 核兵器禁止条約の採択へ

世界大会代表選出急ごう

核兵器禁止条約の国連会議は7日の採択に向け建設的で真摯な議論が続けられホワイト議長が提案した「条約案」をさらに素晴らしいものに練り上げられ、7日には採択される見通しです。この禁止条約は、人類史上初めて核兵器を違法化し「悪の烙印」を押す画期的なものです。核兵器禁止条約が採択されれば、この条約と反核平和運動の力で「全面廃絶」に進む新しい条件が開かれます。

今年の原水爆禁止世界大会は、禁止条約を推進してきた国連や政府代表、世界の運動団体の代表も参加して、今後の展望や運動についてダイナミックに討論されます。世界大会ではヒバクシャ国際署名のこれまでの活動交流とともに今後の飛躍への節目となります。この歴史的な時の世界大会を、かつてない規模で成功させることは、禁止条約に後ろ向きな日本政府への大きな圧力ともなります。

現在の参加申し込みは約180名です。目標は350人です！

現在の参加申し込みは、約180人です。これからが代表選出の重要な時期です。青年は、50名をめざしてかつてない取り組みが始まっています。「今年はある人に行ってほしい」と積極的な取り組みも始まっています。しかし、今のペースで進むならば、350人には届きません。代表選出のピッチを上げて、若い人、これまで核兵器廃絶運動を頑張ってきた人、これから頑張してほしい人などすぐに声をかけ、申込書を県原水協に送ってください。ホテルや飛行機の「キャンセル料」発生時期も迫っています。

世界大会参加者のつどい(結団式)に参加しましょう。[7月25日(火)18:30～ 建設プラザ:東神奈川駅]

国連会議で発言した被団協事務局次長の和田征子さん(県原爆被災者の会)の国連会議報告あります。

今度の国連会議に参加した長野久美子さん、坂田綾子さん、岩室結衣さんの報告も予定しています。